

EA527NL (廃番)

(リベット兼用ナットセッターキット)

<仕様>リベット

○リベット使用径 2.4mm・3.2mm・4.0mm・4.8mm

<仕様>ナットセッター

○ブラインドナット M3, M4, M5, M6 (M3, M6はオプション)

<仕様>共通

○全長 265mm

○セット重量 1000g 本体 600g

<セット内容>

○リベット兼用ナットセッターツール

○ブラインドリベット

リベット径	板厚	入数
3.2mm	1.6~4.8mm	15本
4mm	1.6~4.8mm	15本

リベット用ノズピース 2.4、3.2、4.0、4.8mm用各1個

○ブラインドナット

M4x25 10本、M5x25 10本

ナットピース M4・M5用各1本

マンドレル M4・M5用各1本

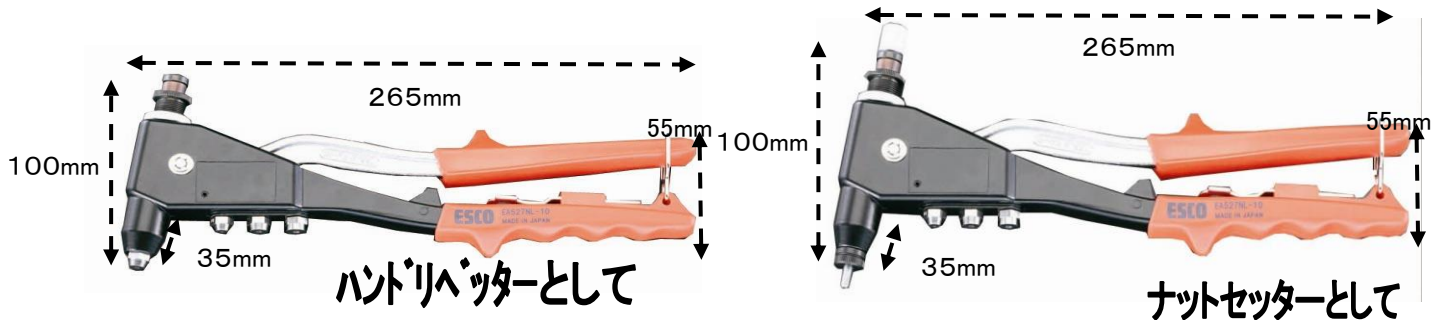
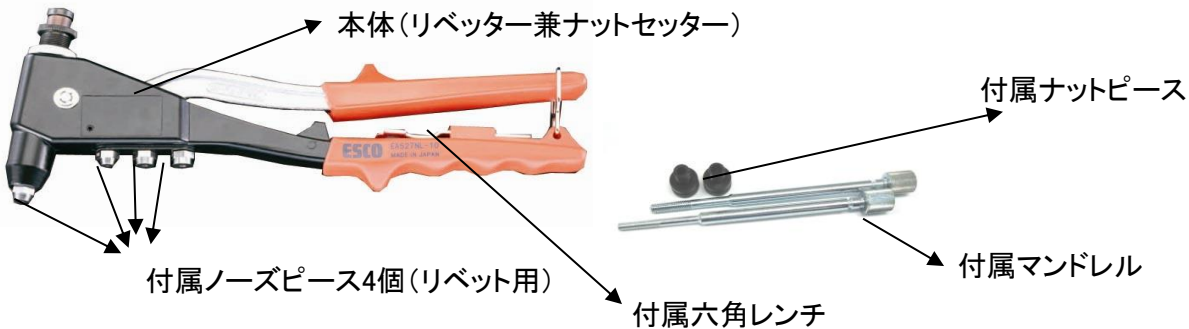
○ノズピース交換用六角レンチ

○ケース(295x130x50)mm



EA527NL-10 (廃番)

(本体+リベット用ノズピース(2.4,3.2,4.0,4.8mm用)マンドレル、ナットピース(M4・M5用))

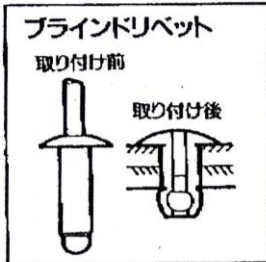
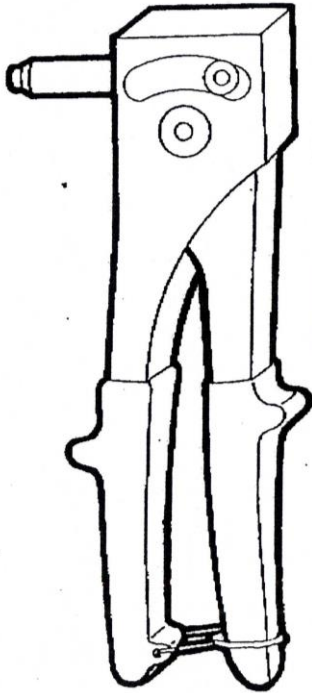


交換用・オプション部品 (EA527NL・NL-10) 用		
品番	部品	適用サイズ
EA527NL-13	マンドレル	M3
EA527NL-14		M4
EA527NL-15		M5
EA527NL-16		M6
EA527NL-23	ナットピース	M3
EA527NL-24		M4
EA527NL-25		M5
EA527NL-26		M6

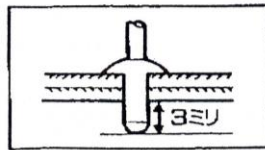
※ナットピースM3・M6はそれぞれM4・M5と形状が異なりますが、適合します。

■ハンドリベッターとは

手の届かない箇所や、ボルト・ナットを締めつけてもゆるんでしまう箇所等に、母材を傷つけずにカシメ作業のできる工具です。

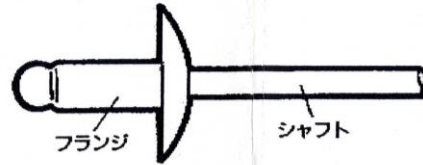


リベットは取り付けの厚さによりサイズが異なります。



使用するリベットはカシメ材の厚みより3ミリ長いものが最適です。

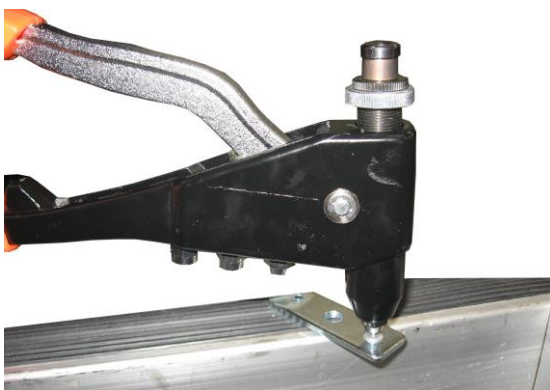
■ブラインドリベットの選び方



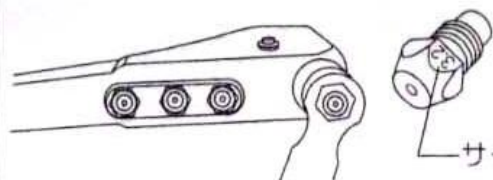
ブラインドリベットの材質は、アルミニウム、鉄、ステンレス、銅などです。ご使用条件（母材、厚み、耐触性等）に合わせてブラインドリベットをお選び下さい。一般的には、母材と同じ材質のリベット（フランジ材）を使用することが望ましいとされています。

■リベットの種類

リベット No.	フランジ		下穴 寸法 (mm)	締付可能板厚 (mm)		
	径(mm)	首下長(mm)				
3-2	2.4	6.0	2.5	1.0~3.2		
3-4		9.2			2.6	3.2~6.4
4-2	3.2	5.0	3.3	1.6~3.2		
4-3		6.6			3.4	3.2~4.8
4-4		8.2				
5-2	4.0	7.3	4.1	1.2~3.2		
5-4		10.5			4.2	3.2~6.4
5-6		13.6				
6-4	4.8	11.1	4.9	4.8~6.4		
6-6		14.3			5.0	6.4~9.6

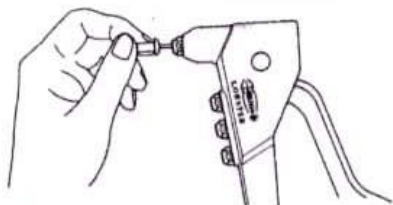


使用方法

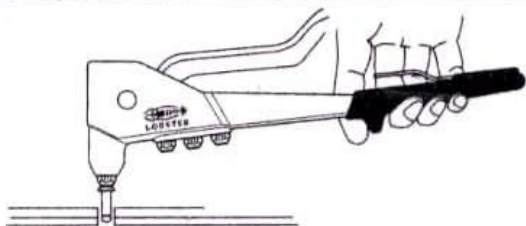


- 1** 使用するリベットのリベット径と同じサイズ表示のノーズピースに付属の板スパナを用いて交換してください。

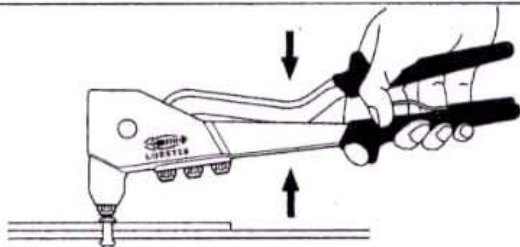
サイズ表示 (ご購入時付いているノーズピースは $\phi 32$ mm用です)



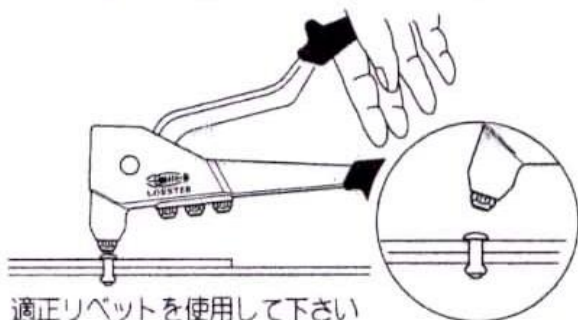
- 2** ハンドルを十分に開いて、リベットのシャフトをリベッターの先端 (ノーズピース) に挿入します。



- 3** リベッターに挿入されたリベットをかしめようとする物体の穴に挿入する。
(かしめようとする物体の下穴はあらかじめリベット径より $0.1\sim 0.2$ mm大きくあけておいてください。)

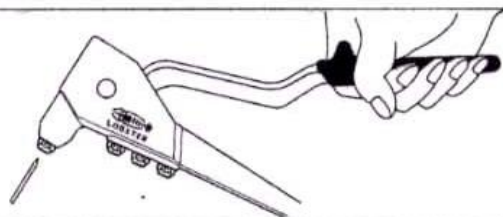


- 4** かしめられる物体にリベッターを押し付ける様な気持でシャフトが切断されるまで両柄を締め付けます。



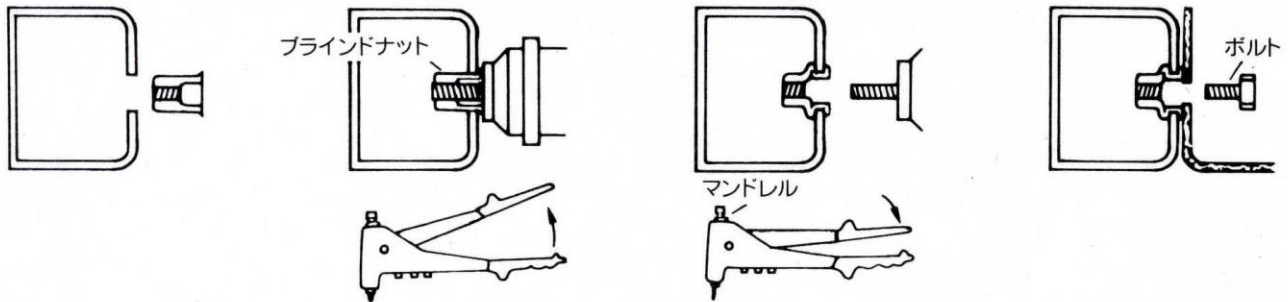
適正リベットを使用して下さい

- 5** もし一度でシャフトが切れない場合は、ハンドルを十分に開きノーズピースがリベットのかしめ部に再び触れる様にリベッターを押し、シャフトが切断されるまでもう一度締め付けしてください。



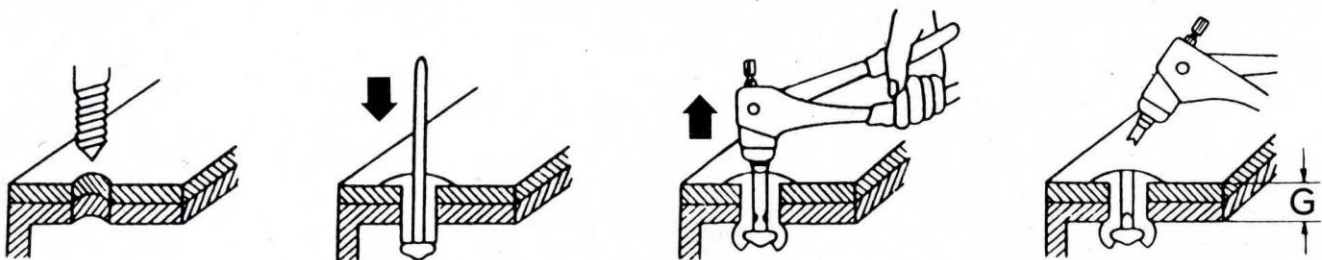
- 6** ハンドルを十分に開いて切断されたシャフトを排出してください。

*ハンドナッターとしての使い方



- ③加工物に下穴をあける。
- ④ハンドルを開きマンドレルにブラインドナットをネジ込み下穴にいれる。
カシメストロックはアジャストスクリューで調節して下さい。
- ⑤ハンドルを閉じてナットをカシメ、つぎにマンドレルを回してカシメたナットから工具を取り外す。
- ⑥ボルト、ビス等にて取付け物をセットします。

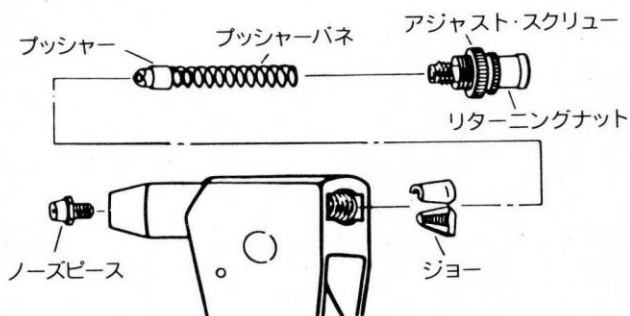
*ハンドリベッターとしての使い方



- ①リベット止めをする板に穴をドリルであける。リベット径より0.1mm大きい穴が適当。
- ②リベットを挿入する。
- ③どんなタイプのリベットでもOK。心軸をリベッターのジョーにしっかりとさみこみ、にぎって下さい。
- ④心軸は適当な位置でカットされ、リベットは自力でしっかりと締結するので振動にも耐えられます。

【切替方法】

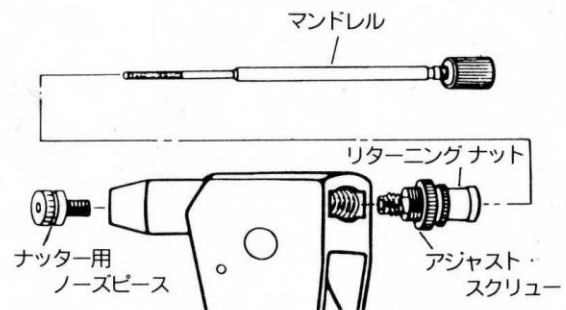
ハンドリベッターからハンドナッターへ



ハンドリベッター分解図 図A

- ① ノーズピースをはずします。(図A)
- ② リターニングナットを外し、ジョーケースからジョー、プッシャー、プッシャーバネを取り出します。(図A)
- ③ リターニングナットのみをジョーケースにネジ込み次に使用マンドレルを差込みます。
- ④ ナッター用の使用ノーズピースを取り付けて完了。(図B)

ハンドナッターからハンドリベッターへ



ハンドナッター分解図 図B

- ① ナッター用ノーズピースを外します。(図B)
- ② マンドレルを抜きリターニングナットを外します。
- ③ ジョーケースにジョー、プッシャー、プッシャーバネを入れ、リターニングナットを取り付けます。
- ④ ノーズピースを取り付けて完了。
- ⑤ アジャストスクリューは上端に戻しておきます。(図A)